



鳥栖市立基里中学校 学校だより

きりの里 第10号

令和3年9月13日 校長 牟田美弥子



☆成長を感じた体育大会 9月5日

今年度の体育大会は、一人一人の頑張りがよく見える個人競技、みんなの走る力と心をつなぐリレー競技、各団の集団のまとまりや工夫を凝らした演技を披露する応援合戦で構成され、どれも見応えがありました。

応援合戦では、赤団から青团へ、青团から赤団へとエールを送る場面で、受け取った団から大きな拍手がわき起こりました。また、リレーでは、青团の方がタイムが良かったと分かった瞬間に、赤団から青团に拍手を送る姿が見られました。

練習から本番までの間に、足りない選手の人数を揃えるのに協力したり、自分の仕事以外を手伝ったりして、体育大会を支えてくれた人もいました。

勝利を目指して頑張る中で、相手を尊重し、お互いにたたえ合う姿、自分にできることに精一杯取り組む姿に、体育大会期間中を通しての心の成長を感じ、とても嬉しく思いました。

団長、副団長はじめ各団のリーダー、



下級生をまとめてリードした3年生、その思いに応えて頑張った1、2年生、みんなに拍手を送ります。



☆ちょこっと、インタビュー！

3年生の池田陽さんは、団長と副団長から、応援合戦の時、練習の時から一番声を出して頑張っていたと認められています。

「団長、副団長、応援リーダーが、思い切り盛り上げないとという雰囲気頑張っているのを見て、自分もやらないとという気になった。自分がメンバーの一人として頑張れば、周りも頑張ってくれと考えました。本番では、最後まで悔いなく、楽しくできました」

3年生の緒方里咲さんは、青团の副団長になり、団長やリーダーと協力して、応援合戦の練習を頑張ってきました。

「本番では、先に赤団が4分58秒というタイムを出して、すごいなあと思いました。青团の番になると、後ろから練習のとき以上にみんなの声が聞こえてきて驚きました。みんな全力でやっていることが分かって、青团ならできる、と思いました。今は、“やりきったっ”という感じです」



1年生の古川佳祐さんは、応援リーダーになり、練習の時からとても大きな声を出して頑張っていました。

「体育大会の当日は、朝から応援合戦のことを考えてとても緊張していました。でも、いよいよ始

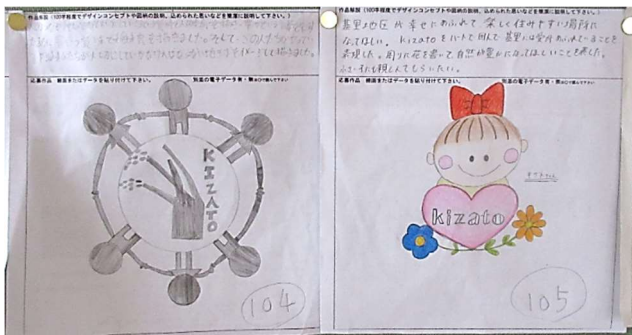
まるときは、頑張ろうという気持ちの方が強くなりました。3年生の足を引っ張らないようにと頑張っていました。優勝できてよかったです」



2年生の古川日陽さんと轟悠太さんの2人は、クラスで全員リレーの係を引き受け、練習の時から本番まで、力を合わせて活動しました。

「全員リレーのチームごとの選手の数合わせるために、2人で補充を考えて、頼みました。本番前には、チームごとに順番に並ぶように、みんなに声を掛けました。みんなが協力してくれたから、この係をやってよかったですと思っています」

☆基里地区まちづくり推進協議会 シンボルマークに、117作品応募



基里まちづくり推進協議会は、「住民同士のきずなが強く、互いを助け合う基里地区の良さを次世代へ継承するとともにより幸せで豊かな住みよい町づくり」を目標に、設立10周年を迎えています。

夏休みに、シンボルマークの募集があり、中学校から117作品の応募がありました。作品には、本人のコメントが書いてあり、作品に込めた願いや基里地区への生徒の思いを知ることができました。

応募作品は全て校内に掲示され、9月1日に投票をしています。現在、応募作品と投票用紙は、まちづくり推進協議会の事務局で保管されており、今後、小学生の部や一般の部の応募作品と合わせて、最終審査が行われます。

☆紙上授業参観



2年生は、美術の時間に「視点の冒険」というテーマで、構図の学習に取り組んでいます。生徒たちは、タブレットのカメラ機能を使って、事前に学習した①見上げる、②見下ろす、③窓越し、という視点や、④その他に自分の考えた視点で、校内の写真を撮ってまわりました。この時間は、美術室に戻って、自分が撮った写真の中から1枚を選び、必要に応じて拡大・縮小したり、トリミングをしたりして、構図を決め、画用紙に下描きをしていました。タブレットを使った構図の学習を通して、いつもの校舎の何気ない風景が、生徒にとってとても新鮮なものに見えているようです。



1年生の数学では、数量の等しい関係を見つけ、 $=$ の記号を使って等式に表す、という学習をしていました。一人が発表すると、他の考え方で式を作った生徒が自分の考えを説明します。友だちの発表をよく聞いて、「自分の考えと同じか、そうでないか」「式の形は違うけれど、その考え方もよいか」と集中して考えているのがよく分かりました。多様な考え方にふれることで、1つの答えを見つけたらもう他にないか？ と考える力がつくのだなあと感じました。1年生は、この学習を終えると、いよいよ方程式の世界へと旅立ちます。